

# 高学年だよりの

各地で入梅を迎えたニュースが報道されています。広島もいよいよ入梅となりそうです。蒸し暑く過ごしにくい季節となりました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。気をつけたいものです。

さて、先日は雨天の合間を縫うように天候に恵まれ、運動会を盛大に行うことができました。多くの方々にお力添え、お心遣いいただいたおかげだと思います。ありがとうございました。

今年は、全校演技として「ソーラン節」に挑戦しました。皆様の目にはどのように映りましたでしょうか。最初はバラバラだった踊りが、練習を重ねるうちにしだいに感覚をつかみ、本番の演技へとつながりました。途中でいろいろと試行錯誤がある中、子どもたちはひとつずつ課題を克服し、力をつけていきました。演技を通してお互いに合わせていくことの大切さ、限界をのばしていくことの大切さを学ぶことができたのではないかと思います。

5年生にとっては5回目の運動会で、本校の運動会にはもう慣れたという感があるかもしれませんが、本年度の運動会には特別な意味を持って臨んでいました。来年度の運動会には最上級生として臨むこととなります。6年生になっていきなりリーダーシップがとれるかという、それは難しいもの。現在の6年生を手本として、来年はそれ以上の働きができるようにしっかりと学んでおこう。今回の運動会は、全力で演技をするとともに、リーダーとしての学びの場でもありました。よき「伝統」という言葉を耳にすることがありますが、その伝統とは何なのでしょう。子どもたちは「伝統」という言葉は知っていても、何が伝統なのかよく分からないという反応を示します。学校行事は、その「伝統」を感じ、考える場でもあります。上級生の姿に学び、自分たちがさらに一歩高め、下級生に行動をもって示していく。その継続が知らず知らずのうちに「伝統」となっていくのではないかと思います。

今年度の運動会は盛況のうちに終わりましたが、来年の運動会に向けての新たな準備が始まります。これから子どもたちとともにゆっくりじっくり力を蓄えていきたいと思えます。

福島忠則